

もり 木のこどもだより

「放課後子ども教室」とは、全国の小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室などを活用して、地域の方々の力を借り、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動を行い、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。

盛岡市では、「上田ジュニアキャンパス（UJC）」、「渋民放課後子ども教室」、「うれし野子ども図書室子ども教室」、「中屋敷公民館子ども教室」、「繋小学校放課後子ども教室」の5つの放課後子ども教室を開設しています。

今回は、開設40周年を迎えたNPO法人「うれし野こども図書室」内で、読書活動を中心に温かい子どもたちの居場所づくりを工夫している「うれし野こども図書室子ども教室」の様子を紹介します。

『木のこどもだより』名前の由来。

「杜と水の都」とよばれる盛岡市において、地域の皆さんの力で子どもたちの心を育み、木々の枝のように伸びやかに育てていければ・・・、という願いを込めました

「うれし野こども図書室子ども教室」の活動紹介

子ども教室の概要

- ♣ 所在地
盛岡市若園町2-2
総合福祉センター3階
- ♣ 連絡先
019-663-1259
- ♣ 対象小学校区
城南小学校区
- ♣ 開催日時
毎週木曜日・土曜日
午後2時から5時まで
- ♣ 主な事業内容
図書の貸し出し、読書相談、お話し会、
夏のおたのしみ会、冬のクリスマス会



「うれし野こども図書室」のトレードマークである猫が子どもたちを見守っているかのようです

◆ 利用している子どもたちの様子

「今日はどんな本を読もうかな?」「宿題は早く終わらせよう・・・」と、子ども達は胸をはずませて教室に向かいます。子ども教室では、優しく対応してくれる教育活動サポーターさんが笑顔で迎え、学校の出来事を話すと温かく耳を傾けてくれます。宿題をしたり、借りている本を返したり、借りる本を選んだりしながら、友達と仲良く過ごしています。

教室の特長

「うれし野こども図書室子ども教室」には、児童書を中心に蔵書が約7,600冊もあります。長く在籍している教育活動サポーターさんや子どもたちによってつくられる読書活動を中心にした温かな空間が特徴的です。城南小学校区の子どもたちが多くですが、土曜日などは近隣の杜陵小学校や仁王小学校の子どもたちも利用しています。お気に入りのシリーズの図書を読破したり、自分たちで読み聞かせをし合ったり、学習をしたり、おしゃべりをしたりするなど、子どもたち一人ひとりが心を開くことのできる楽しい居場所になっています。



活動の様子



冬休み間近の12月7日(木)。可愛らしく装飾された教室のドアを開けると、「絵本の世界」に囲まれた子どもたちの輝く笑顔が迎えてくれました。「ここは、幼稚園の年中組から通っている大好きな場所です」と、笑顔で話す5年生の長谷川君。「4年生までは、リクエストに応じて読み聞かせをしていたけれど、高学年になったら



クリスマスに関わる関連図書のコーナー
読後の感想ノートもあり、互いの感想を読むのも楽しみ

放課後が忙しくなり、今までのようにできなくなりました」と、

少し残念そうでした。それを聞いた3年生の男の子たちが、「次は僕たちが読み聞かせをやりますよ」と、先輩がしてくれたことを受け継ぐ意志を話してくれました。

「クリスマス会」では、司会や絵本の読み聞かせを子どもたちが担当します。ゲーム、けん玉、出し物、合唱等、自主性を大切にしながらプログラムを企画していました。

子どもたちは、「サポーターの先生方が私たちが大事にしてくれます」とうれしそうに話してくれました。お家の方も含め様々な年代の方々が在室していて、豊かな空間が広がっていました。



絵本の世界の中で、心豊かに育つ子どもたちに出会い、見学したわたしたちも温かい気持ちになりました。うれし野こども図書室子ども教室の皆さん、ありがとうございました。



絵本を読む子、宿題をする子、本を選ぶ子
自由に温かい空間がひろがる・・・